

小學校用

商業書

松田好生著

第三

ト 2

2908

3



門下 2
號 2908
卷 1



昭和49年6月7日
松田壽男氏
贈寄

49-1153

小學校用商業書第三

松田好生 著

第十八章 郵便

商業書翰ハ、互ニ商買上ノ契約ヲ爲スモノナレ
バ、極メテ無用ノ語ヲ省キ、要事ノミヲ簡明ニ認
ムルヲ要ス、又概迅速ヲ要スルガ故ニ、誤謬ナキ
様注意スベシ、而シテ其書翰ハ、例ヘ些細ナル事
件ト雖モ、悉其寫ヲ取り置キ、後日ノ參考ニ供ス
ルヲ宜シトス、故ニ大ナル商家ニテハ、常ニ複寫

小學

商業書

第三

一

教育書專賣所

校用 函書 第三 二 普及舎
器ヲ備付ケ、發信スル毎ニ複寫帳ニ寫シ置クハ、
至極簡便ノ法ナリ、又諸方ヨリノ來翰ハ、其差出
人ノ氏名、或ハ其地名ニ由リ一々區別シ、且到着
及回答月日ヲ記入シ置クヲ可トス、
先郵便ヲ仕出スニハ、先方ノ住所姓名ヲ正シク
記載シ、又書翰ノ重量ヲモ秤カラズ、猥リニ印紙
ヲ貼用シテ、先方ニ不足税ヲ拂ハシムルガ如キ、
不都合ナキ様注意スベシ、商買上、他見ヲ憚カラ
ザル要用ニハ葉書ヲ用ヒ、緊要ノ事柄或ハ手形
證書等ヲ封入スルトキハ之ヲ書留ニスベシ、

郵便ニ四種アリ、第一書狀、第二葉書、又往復葉書、
第三毎月一回以上發行スル定時印刷物、即新聞
雜誌類、又其附録、第四書籍、帳簿、各種ノ印刷物、寫
真、書畫、繪圖、罫紙、營業品ノ見本、雛形等ナリ、而シ
テ其印紙税ハ、第一種ハ重量ニヌ毎ニ金貳錢ニ
シテ、第二種ノ内通常葉書ハ一枚壹錢、往復葉書
ハ貳錢ナリ、第三種ノ郵便物ハ一號又ハ一個ノ
目方十六ヌ毎ニ壹錢ニシテ、二號又ハ二個以上
ヲ一束ニスルトキハ、十六ヌ毎ニ貳錢ナリ、第四
種ノ郵便物ハ、目方八ヌ毎ニ貳錢ノ郵税ナリ、若

校用内書書 第三 四 普及舎
第二種郵便物ヲ他種ノ郵便物ト合装シタルモ
ノ、税額ノ印面ニ文字ヲ書シタルモノ、葉書ノ表
面ニ音信文ヲ記載シタルモノ等ハ、總べて第一
種郵便物トシテ取扱ハレ、其不足ヲ取立テラル
ルモノナリ、第三種第四種ノ郵便物ニハ、音信文
暗號、隱語等ヲ記載シ、若クハ封緘スベカラズ、若
此規則ニ背クトキハ、第一種ノ郵便物トシテ取
扱ハルベシ、又第四種ノ營業品ノ見本及雛形ハ、
雙方又ハ一方ノ者、其商買ヲ爲ス者ニ限り、營業
人ニアラザルモノ、此類ノ往復ヲ爲ストキハ、第

一種ノ郵便物中ニ組入レラル、而シテ此見本雛
形ハ、一個ノ目方四十八匁ニ過グベカラズ、其他
第三第四種ノ郵便物ノ内、見本雛形ヲ除キ、一個
ノ目方三百目ヲ超ユルコト能ハズ、何種類ヲ問
ハズ、郵便物ノ大サハ、曲尺ニテ長サ一尺二寸、巾
八寸、厚サ五寸ヲ過グベカラザルナリ、郵便物ト
爲スベカラザルモノハ、毒藥、劇藥、流動物、爆發物、
燃燒腐敗シ易キ物、翹化スベキ物、動植物、又物、硝
子器、陶器等ノ損傷シ易ク、又他ノ郵便物ヲ損害
スベキ物品、又ハ風俗ヲ害スベキ文書、畫圖、寫真、

及物品、金銀、寶玉、及貨幣等ナリ、若之二背クトキ
ハ、貳圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處セララル、ナ
リ、但貨幣ハ貨幣封入郵便物トシテ、別段ノ方法
ニ據リ配達ヲ望ムトキハ、三拾圓以内ハ遞送ス
ルヲ得ベシ、書留郵便ハ其手数料ヲ六錢トス、故
ニ通常郵税ノ外更ニ六錢ノ印紙ヲ貼用シ、郵便
局若クハ郵便受取所ニ於テ、之ヲ主任者ニ渡シ
受取證書ヲ受領シ置クベシ、又急速ヲ要スル郵
便ニハ、別配達ノ法アリテ、郵書ヲ受取レバ直ニ
別使ヲ以テ配達スルモノナリ、市内配達料ハ、東

京、京都、大坂ハ拾錢、其他ノ市内ハ六錢トス、市外
別配達ハ、配達ノ郵便局ヨリ、受取人ノ住所ニ至
ル路程ニ應ジ、十八町毎ニ六錢ノ割合ナリ、總ベ
テ書留別配達ノ郵便物ハ、其表面ニ書留別配達
ト書シ、市外別配達ノ分ハ、何地郵便局ヨリ別配
達ト記スベシ、但朱記スルヲ宜シトス、何トナレ
バ此等ノ郵便物ハ、一目シテ通常ノ郵便物ト區
別スルヲ要スレバナリ、
外國へ差出ス郵便物ノ種類ハ、第一信書、第二郵
便葉書、第三書籍、各種ノ印刷物、寫真、畫圖、第四詞

訟上及商業上ノ書類、第五商品ノ見本是ナリ、但
 第二ノ葉書ハ、萬國郵便聯合葉書ヲ用フベク、其
 價一枚三錢ナリ、第五ノ見本ハ、定價ヲ附セザル
 物ニ限ルベシ、而シテ第三第四第五種ハ封緘ス
 ベカラズ、若封緘スルトキハ、第一種ノ郵便物ト
 シテ取扱ハルベシ、又貨幣、高價ナル物品、關稅ヲ
 拂フベキ品、及前ニ述ベタル内國ニテ、郵便物ト
 爲スベカラザル物品ハ、之ヲ外國ノ郵便物ト爲
 スベカラズ、外國郵便稅ハ、北米合衆國、香港、上海、
 若クハ浦鹽斯德へ宛テ差立ツル信書ハ、十五

ラハニ付金五錢、合衆國ヲ經テ聯合各國ニ到ル
 モノハ拾錢、香港ヲ經テブリンヂシヲ經ザルモ
 ノハ拾錢ニシテ、香港及ブリンヂシヲ經ルモノ
 ハ拾貳錢ナリ、

第十九章 電信

凡ソ電信ヲ發スルニ、文章冗長ナレバ過分ノ音
 信料ヲ拂ハザルベカラズ、亦甚簡短ニ過レバ、其
 文意貫徹スル能ハザルノ弊アリ、故ニ電報ハ其
 要旨ノミ、誰人ニテモ分ル様ニ簡明ニ記スベシ、
 又電報ヲ記スルニハ、和文ハ片假名及數字ヲ用

ヒ、歐文ハ羅馬字及亞刺比亞數字ヲ用フベシ、
電報ハ三種ニ別カル、官報、局報、私報是ナリ、此三
種各分チテ七類トス、即通常電報、至急電報、追尾
電報、同文電報、照校電報、受信電報、返信料前納電
報是ナリ、通常電報ハ、壹岐對馬ノ二國ヲ除ケバ、
國內ヲ通ジテ、一音信即片假名十字以内ハ金拾
五錢ニシテ、十字以内ヲ加フル毎ニ拾錢ヲ増シ、
一市内ニ發着スル電信料ハ、一音信金五錢、十字
以内ヲ加フル毎ニ三錢ヲ増シ、住所姓名ハ和文
ニ限り、字數ニ算入セラレザルナリ、至急電報ト

ハ、通常電報ニ先ダチテ傳送スルモノニテ、其料
金ハ、官報ハ通常電信料ノ二倍、私報ハ三倍ナリ、
追尾電報トハ、發信人ニ於テ豫、受信人ノ轉居、又
ハ旅行スル事等ヲ知り、其在所ヲ追ヒ傳送スル
モノニテ、其賴信紙ニハ追尾スベキ、受信人ノ居
所ヲ逐次ニ記スベシ、而シテ其料金ハ、追尾一回
毎ニ原信料ノ半額ヲ加フ、同文電報トハ、同ジ着
信局ノ地ニ住スル數名ノ、各其居所ヲ異ニスル
者へ、同時ニ同文ノ電報ヲ發スルモノニシテ、原
信ヲ除クノ外、和文一通毎ニ五錢ナリ、照校電報

トハ、各局傳送ノ際、全文ヲ校正スルモノニシテ、
發信人ニ於テ、電報中、字句ノ誤謬ヲ預防ガント
スルトキハ、之ヲ用フルナリ、而シテ其料金ハ、原
信料ノ半額ナリ、受信電報トハ、受信人又ハ指定
ノ郵便局ニ、電報ヲ配達シタル時刻又、發信人ニ
報知スルノ電報ニシテ、發信人ニ於テ、其正ニ受
信人ニ到達セシヤ否ヤヲ、知ラント欲スルトキ
之ヲ用フルナリ、而シテ其料金ハ、和文ノ一音信
料ヲ加フ、又發信人ニ於テ、受信人ヨリ納ムベキ
電報料ヲ前納シテ、返信ヲ受ケントスルトキハ、

原信料三倍ニ超ヘザル、料金ヲ前納スルヲ得ベ
シ之ヲ返信料前納電報ト云フ、一體電信料及手
數料ハ、電信切手ヲ以テ納ムルモノナレバ、其切
手ハ賴信紙ニ貼付スベシ、然レドモ返信電報料
ノ前納、及尋問電報ノ加納ハ、貼付スルノ限ニ非
ズ、而シテ電信中央局及分局、並ニ電信切手賣下
所ノ設置アラザル地方ヨリ、郵便ニ付シテ電報
ヲ發出スルトキハ、郵便切手ヲ以テ電信切手ニ
代用スルコトヲ得レドモ、其郵便切手ハ、賴信紙
ニ貼付セザルモノナリ、若電信料及手數料ニ不

足アルトキハ、電信中央局及分局ニ於テ、其電報
ヲ傳達セラルト雖モ、其不足ノ料金ニ倍ヲ發信
人ヨリ追納セシメラル、又電報ハ手数料ヲ要セ
ザルモ、別使配達、解船配達ハ此限ニ非ズ、又郵便
ヲ以テ遞送スル電報ハ、其郵便税ヲ納ムベシト
雖モ、別使又ハ解船ヲ以テ配達スル電報ハ、手數
料ヲ納メ、島嶼ニ配達スル電報ハ、實費ヲ納ムベ
キモノナリ、

電信局ニ於テ未傳送サレザル電報ハ、其發信人
タル證據ヲ以テ、返還ヲ請求スルトキハ、之ヲ還
付サル、コトアリ、又受信人ニ於テ、電報ノ字句
ニ疑惑アリテ、尋問ヲ要スルトキハ、其電報ヲ受
取タル時ヨリ料金ヲ假納シテ、二十四時以内ニ
之ヲ請求スルコトヲ得、然ルニ電信中央局及分
局ニ於テ、其請求ニ應ジ電報ヲ校正シ、通信上ニ
誤謬ヲ發見スルトキハ、假納ノ料金ヲ收入シ、若
誤謬アルトキハ、之ヲ還付サル、ナリ、
至急電報以下ハ、各賴信紙ニ略符號ヲ記シ、制規
ノ通り料金ヲ拂フベシ、其略符左ノ如シ、
至急電信(ウナ) 追尾電報(ウヲ)

同文電信(ヨム)

照校電報(ムニ)

受信電信(ニナ)

返信料前納電報(ナツ)

其他種々ノ略符アレドモ之ヲ省ケリ、又商業上
 秘密ノ通信ヲ爲ストキハ、往々秘辭ヲ挿用スル
 コトアリ、其際ニハ秘辭ノ前後ヲ括弧ニテ圍ム
 ベシ、此括弧及濁點半濁點ハ、二字ニ計算セラル
 ルナリ、又日々取引ノ繁キ商家ニテハ、豫暗號ノ
 略符ヲ作り置キ、互ニ電信スルトキハ、大ニ賃金
 ヲ節減スルコトヲ得ルモノトス、故ニ海外諸國
 ト常ニ電信ノ往復アル商家ニ於テハ、必電信暗

號書ヲ用フルモノナリ、但海外電信料ハ、動モス
 レバ許多ノ金額トナレバナリ、今左ニ其料金ヲ
 擧ゲンニ、日本ヨリ龍動、ハンブルグ、巴里ニ至ル
 ノ電信料ハ、一字ニ付二弗二十一仙ニシテ、凡ソ
 十五時間ヲ要シ、紐育ニ至ルモノハ、同ジク二弗
 三十五仙、四ニシテ、桑港ニ至ルモノハ、二弗五十
 一仙ナリ、共ニ凡ソ十四時間ヲ要ス、又上海ニ至
 ルモノハ、六十八仙ニシテ、凡ソ三時三十分ヲ要
 シ、香港ニ至ルモノハ、一弗十六仙ニシテ、凡ソ二
 時四十分ヲ要スルナリ、

第二十章 市場

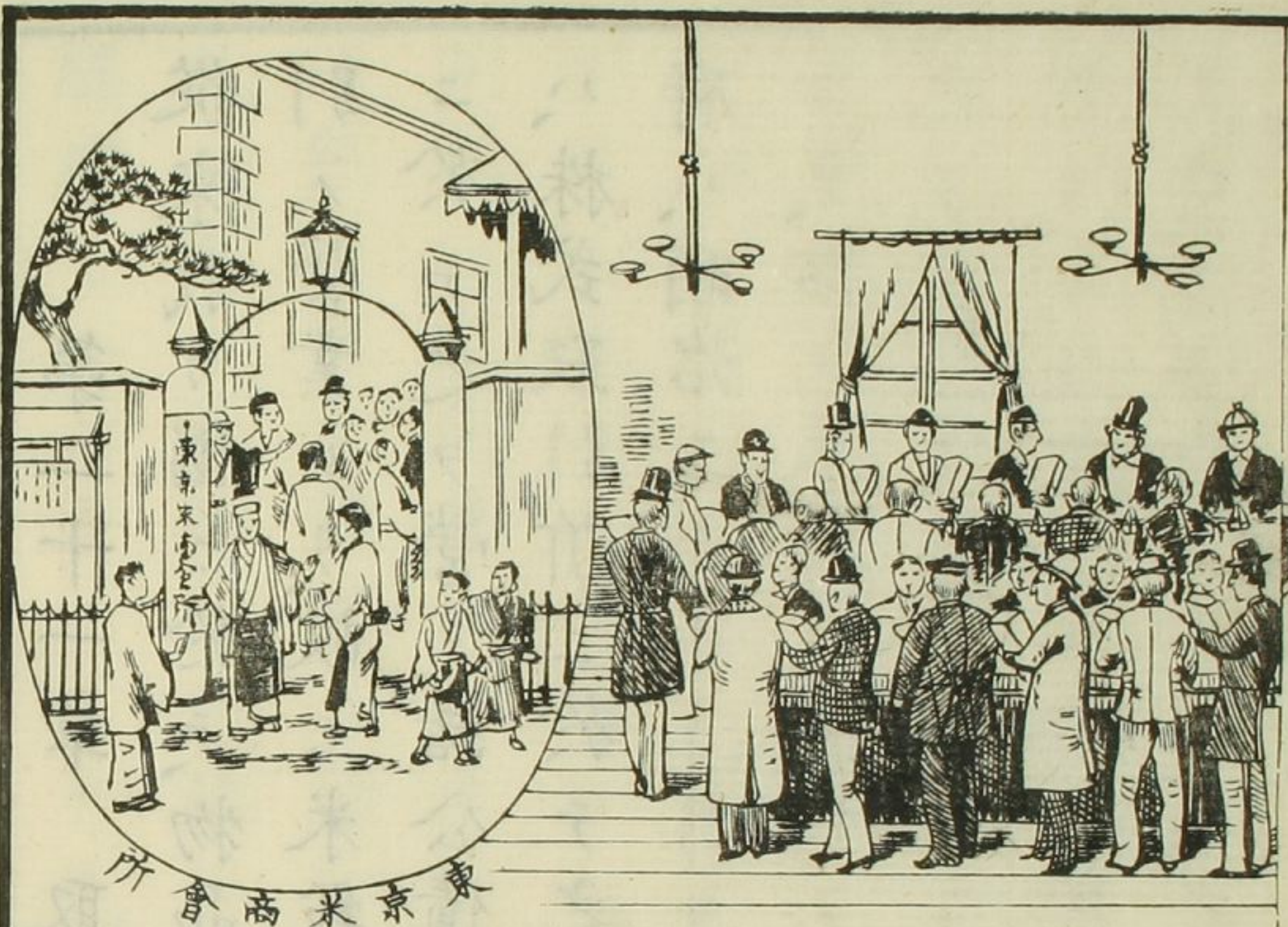
凡ソ許多ノ商賈輻湊シテ、物品ヲ賣買スル所ヲ名ケテ市場ト云フ、然シテ毎日市場ヲ閱クモノト、時期ヲ定メ一個月幾回、若クハ一個年幾回ノ市場ヲ設クルモノトノ別アリ、例令ヘバ魚市場、青物市場ノ如キハ、率毎日市ヲ立ツレドモ、生絲、織物、牛馬市場ノ如キハ、一個月、一個年、若クハ數年間ニ、幾回カ之ヲ設クルニ過ギザルヲ常トス、抑市場ニ於テ賣買スル物品ハ、其種類甚多シト雖モ、大概市場ニ依リテ定リアルモノナリ、蓋シ

市場ニハ一定ノ物品ノ外、他ノ物品ノ賣買ヲ許ザルモノアリ、故ニ魚市場ニ於テハ青物ヲ賣買セズ、青物市場ニ於テハ魚類ヲ賣買セズ、古着市場ニ於テハ、專ラ古着ノミヲ賣買スルヲ常トス、然レドモ各縣下ニ行ハル、市場ハ、大概數種ノ物品ヲ賣買スルモノニシテ、或ハ青物市ニシテ鳥魚類ヲ賣買スルアリ、或ハ米穀、鹽、織物、農具等ヲ一市場ニ於テ賣買スル所ナキニアラズ、諸市場ノ中魚市、青物市、古着市ヲ以テ最大ナルモノトス、市場ハ小賣商ノ其販賣スル物品又產地若クハ

製造所ヨリ取次グ所ニシテ、其物貨ノ融通ヲ助
 クルコト、蓋少々ナラザルナリ、而シテ其賣買取
 引スル順序ハ、土地ノ習慣ニ依リテ同シカラズ
 ト雖モ、大抵問屋、仲買ノ在ルアリテ賣買取ヲ圓滑
 ニシ、小賣商ハ之ニ附キテ買入ル、ヲ常トス、然
 レドモ地方ノ市場ニハ、或ハ仲買有リテ問屋無
 ク、或ハ又問屋ニシテ仲買ヲ兼業スルモノ等アリ、然
 レドモ我ガ三府ニ於ケル問屋ハ、皆免許鑑
 札ヲ有シ、各仲間規約ヲ設ケ、頭取ヲ撰ミテ之ヲ
 總理セシムルモノナリ、

第二十一章 取引所

從來我ガ國ニ於テ、物品取引ト株式取引トハ、各
 別ノ營業タリ、故ニ米穀ノ賣買取引ハ、米商會所
 ニ於テ之ヲ營ミ、諸公債證書株券等ノ賣買取引
 ハ、株式取引所ニ於テ之ヲ行ヘリ、然ルニ我ガ政
 府ハ、明治二十年五月ヲ以テ取引所條例ヲ發布
 シテ、右ノ米穀及株式ノ賣買取引ヲ合一ニシテ、
 之ヲ取引所ニ專任スルコト、セラレタリ、是ニ
 於テカ在來ノ米商會所條例、及株式取引條例ハ
 其營業滿期ニ及ベバ、之ヲ廢止セラル、モノナ



リ、條例ニ依レバ取引所ハ、商業上ノ取引ヲ便利ニシ、市價ヲ平準ニシ、商業上公正眞實ノ風ヲ養成シ、其慣習ヲ統一ニ維持シ、須要ノ報道ヲ傳播シ、及取引所會員ノ間ニ生ズル争論ヲ仲裁センガ爲、農商務大臣ノ特許ヲ得テ設立シ、以テ重要

ノ商品、公債證書、證券、株式等ヲ賣買取引スル所ナリ、然リ而シテ之ヲ設立スルニハ、東京、大坂ニ於テハ三十人以上、其他ノ地方ニ在リテハ、十五人以上、會員タルヲ得ベキモノ創立員トナリ、地方官廳ヲ經テ、農商務大臣ノ許可ヲ受クベキコトナリ、又理事長、理事、常置委員等ノ役員ヲ設ケテ事務ヲ掌ラシメ、理事長及理事ハ、同所ニテ賣買取引スルヲ許サズ、同所ノ會員タルコトヲ得ルモノハ、其取引所ノアル地方ニ居住スル商人ニシテ、會員タルノ義

務ヲ盡スコトヲ得ルモノニ限ルガ故ニ、會員ニ非ザルモノハ、無論取引所ニ集會シテ、賣買取引スルコト能ハズ、然ルニ其會員トナルモノハ、金三百圓以上、三千圓以下ノ身元保證金ヲ要シ、婦女未丁者、公權剝奪若クハ停止中ノ者、又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ、未辨償ノ義務ヲ終ヘザルモノ等ハ、其會員トナルコトヲ許サレズ、若會員ニシテ不當ノ舉動ヲ爲シ、之ガ爲ニ取引所内ニ於テ、紛擾爭論ヲ醸スカ、法律命令及規約ニ違背シタル、不正ノ契約ヲ爲スカ、又ハ故意ニ其商業上ノ

責任ヲ果サシルトキハ、役員ノ決議ヲ以テ、百圓以内ノ過怠金ヲ科シ、一時若クハ永久之ヲ除名スルコトヲ得ルモノトス、又同所ニハ會員ノ外、仲買人アリテ他人ノ委託ニ由リ、一部ノ物件ニ限リ、賣買取引ヲ爲セドモ、自己ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得ズ、但仲買人タラントスルモノハ、農商務大臣ノ免許ヲ受ケテ、免許料金五拾圓ヲ納メ、一千圓以上、二萬圓以下ノ營業保證金ヲ要スルモノナリ、仲買人モ不當ノ舉動、不正ノ契約、若クハ違約失

信ノ所爲アルトキハ、役員ノ決議ヲ以テ、二百圓以内ノ過怠金ヲ科シタル上、其營業ヲ停止スルカ、又ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ禁止スルコトアリ、

又仲買人タルモノハ、取引所ノ賣買取引ニ從事スベシ、代理人又ハ手代ヲ使用スルコトヲ得ザルナリ、已ニ陳ベタル如ク、仲買人ハ他人ノ委託ニ由リテ、賣買取引ヲ爲スガ故ニ、其報酬トシテ口錢ヲ申受クルモノナリ、而シテ其額ハ役員會議ニ於テ之ヲ議決シ、農商務大臣ノ認可ヲ得テ、

而シテ後之ヲ定ムルモノトス、

取引所ニ於テハ、毎日一定ノ時間ニ商業會議ヲ開キ、其時間外ニハ賣買取引スルコト能ハズ、其賣買取引ハ、直取引、定期取引ノ二様ニ別カレ、其方法ハ農商務省令、及取引所ノ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ、然ルニ同所ニ於テ、賣買取引シタル物件ノ相場ヲ以テ、公定相場トセラル、ガ故ニ、之ヲ偽ル者アルトキハ、拾圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處セラル、モノナリ、

又同所ニ於テ爲シタル、賣買取引ニ關スル爭論

ノ仲裁法ヲ設ケ、役員ニ仲裁ノ權利ヲ任セラレ
タレバ、若爭論ヲ生ズルコトアレバ、役員ニ申告
シテ仲裁ヲ仰グベク、而モ代言人ヲ出スコトヲ
許サレズシテ、常置委員ノ多數決ヲ以テ、其爭論
ヲ仲裁シ、法律上ノ見解ニ關スルモノヲ除クノ
外、役員、常置委員ノ仲裁ニ對シテ、裁判所ニ上訴
スルコトヲ得ザルナリ、
尚本條例施行ニ關スル細則アレバ、就キテ見ル
ベシ、

第二十二章 帳簿

凡ソ商業上ノ事ハ、大小トナク記臆ニ依頼スル
ハ、事務ニ紛亂ヲ生ズルノ基、商買ノ衰敗ヲ來ス
ノ徴ナレバ、必帳簿ヲ備ヘ置キ、取引毎ニ猶豫ナ
ク之ニ記録シ置クベシ、例ヘバ遠近ノ商家ヨリ
注文ヲ受ケタルトキハ、直ニ注文控帳ニ之ヲ記
シ、金錢ノ出入アルトキハ、金銀出納帳ニ之ヲ記
シ、物品ヲ仕入タルトキハ、仕入帳ニ記シ、物品ヲ
賣捌キタルトキハ、賣上帳ニ記スルガ如ク、皆之
ヲ帳簿ニ登録スベシ、
然ルニ我が國舊來ノ帳簿ハ、甚不完全ニシテ往

往事務ノ錯雜、計算ノ誤謬アルヲ免カレズ、故ニ志アル商家ハ、速ニ西洋ノ簿記法ニ改ムルヲ宜シトス、抑西洋諸國ニ於テ簿記法ノ起リシハ、今ヲ距ルコト遠クシテ、爾來益、其原理ヲ考究スルモノアリテ、遂ニ一科ノ學ヲ成シ、大ニ世間ニ用ヒラル、ニ至レリ、我ガ國ニテモ、近年此學ノ流行盛ナレドモ、多クハ官省、銀行、諸會社ニ限リテ、通常ノ商家ニ用フルコト甚稀ナルハ、是我ガ商家ノ一大缺點ト謂ヒツベシ、抑簿記トハ、商業取引ノ顛末ヲ記載シテ、其結果

如何ヲ明ニスルニ、簡易ノ方法ヲ以テスルモノニテ、單式複式ノ二種アリ、各商買柄ニ由リ、適宜ニ之ヲ應用スルヲ得ルモノニテ、小量ノ物品ヲ賣買スル商家、若クハ賣買取引ノ繁忙ナラザル商買ニハ、單式ヲ用フルヲ簡便ナリトス、又複式ハ商業ノ壯大ニシテ、繁雜ナルモノニ適用セリ、單式ニテハ、日記帳ト元帳トノ二簿ヲ用ヒテ、充分ナリトスレドモ、商買柄ニ由リテハ、其他補助簿ヲ用フルモ可ナリ、日記帳ニテハ他家ノ借貸ヲ分チ、而シテ之ヲ元帳トテ、豫メ取引先ノ口取

ヲ爲シ置タル帳簿ニ記入スルナリ、故ニ取引先
トノ勘定ハ何程ナリトテ、之ヲ知ルニ便ナレド
モ單式ニテハ賣買シタル商品、及損益ノ勘定、
ヲ知ルコト容易ナラズ、複式ニテハ、元帳ニ記入
スル前ニ借貸ヲ區別セシガ爲、仕譯帳ト稱フル
帳簿ヲ備へ置クガ故ニ、日記帳ニテハ別ニ借貸
ヲ區別スルコト無シ、又複式ハ一取引毎ニ、必ニ
項以上ニ記入スルモノニテ、物ト事トヲ以テ人
ノ如ク見做シテ借貸ヲ區別ス、而シテ元帳ノ貸
方合計ハ、必借方合計ト符合スベキモノナルガ

故ニ、若符合セザレバ、記入ニ誤謬アルヲ免レザ
レバ、記入ノ正不正ヲ訂スニハ至極便利ナリ、故
ニ其元帳ハ單式ニ於ケルガ如ク、他人ヘノ借貸
如何ヲ明知スルヲ得ルノミナラズ、金銀商品ノ
勘定、及損益如何ヲモ精細ニ知り、且記入ノ正不
正ヲモ訂スヲ得ルモノナリ、
總ニテ帳簿ハ、商家ニ於テ實ニ大切ナルモノニ
テ、一朝取引先ト紛紜ヲ生シ、訟訴ノ起ルトキハ、
裁判所ニテハ、帳簿ヲ以テ證據トナスガ故ニ、常
ニ能ク記入ニ念ヲ入レテ、毫モ誤謬ナキヲ勤ム

ベシ、萬一書損杯スルトキハ、其誤字ヲ墨消シテ正誤ヲ施シ、其側ニ捺印シ置クヲ宜シトス、又常ニ帳簿ヲ通覽シ、又ハ時々計算ノ検査ヲ行フヲ以テ最良法トス、

第二十三章 公債證書及證券

凡ソ一國ノ政府ヨリ若干ノ利子ヲ附シ、償却期限ヲ定メテ金ヲ人民ニ募ルコトアリ、之ヲ名ケテ國債又公債ト云フ、即一國政府ノ負債ナリ、國債ヲ區別シテ内外ノ二トス、内債トハ内地人民ニ於ケル負債ニシテ、外債ハ外國ニ於ケル負債

ナリ、今我が邦ノ公債ヲ舉グレバ、舊公債、新公債、金祿公債、起業公債、中山道公債、金札引換公債、海軍公債、整理公債等アリ、

舊公債ハ、弘化元年ヨリ慶應三年ニ至ルマデ、舊諸藩ニ於テ、内國人民ヨリ借入レタル金額ヲ、改メテ政府ノ公債トシテ、大藏省ニ負擔シタルモノニシテ、明治五年ヨリ同五十四年マデ、無利息五十個年賦トセリ、

新公債ハ、明治元年太政更始ノ時ヨリ、明治四年廢藩ノ時、及明治五年マデニ舊諸藩縣ニ於テ、内

國人民ヨリ借入レタル金額ヲ政府ノ公債トシテ之ヲ大藏省ニ負擔シタルモノニシテ、利子ハ年四分トシ、明治八年ヨリ明治二十九年マデ十二年個年間ニ、大藏省ノ都合ニヨリ、毎年或ハ隔年ニ抽籤ノ方法ヲ以テ償却セラル、モノトス、新舊公債トモニ、其證券ノ金額ヲ、貳拾五圓、五拾圓、百圓、三百圓、五百圓ノ五種ニ區別セリ、金祿公債ハ、華士族、平民ノ家祿、賞典祿、給與ノ制限ヲ改メテ、一時ニ下渡サレタルモノナリ、記名證書ニシテ五個年据置キ、六年目ヨリ大藏省ノ

都合ニ由リ、毎年抽籤ノ方法ヲ以テ之ヲ償却シ、都合三十個年間ニ悉皆拂渡サル、モノトシ、其證券ハ、五圓、拾圓、貳拾五圓、五拾圓、百圓、三百圓、五百圓、千圓、五千圓ノ九種トシ、利子ハ五分、六分、七分等ノ差異アリ、起業公債ハ、全國中公益ノ事業ヲ起シ、物産繁殖ノ道ヲ開キ、内外ノ商業ヲ盛ナラシメンガ爲ニ、募集セラレタル内國債ヲ稱スルモノナリ、利子ハ年六分ニシテ、元金ハ、明治十三年ヨリ二十三年間ニ、大藏省ノ都合ニ由リ、抽籤ノ方法ヲ以テ

償却セラルベキモノトス、此證書ニハ記名無記名ノ兩種アリ、無記名證書所持人ト雖モ願ニ由リ、記名證書ニ變換スルコトヲ得ルナリ、其金額ハ五拾圓、百圓、五百圓ノ三種ニ區別セリ、中山道公債證書ハ、中山道ニ鐵道ヲ布設シ、及其事業ヲ經營スルノ資金ニ充ルガ爲、發行セラルルモノナリ、無記名利札付ニシテ、金額ハ、百圓、五百圓、千圓ノ三種アリ、五圓、十圓、百圓、千圓ノ金札引換公債ハ、政府發行ノ紙幣ヲ交換支消セシムガ爲ニ發行セラレ、其元利金共ニ、金銀貨幣ヲ

以テ仕拂ハル、モノトス、記名利札付ニシテ、五拾圓、百圓、五百圓ノ三種アリ、又金札引換無記名公債證書ハ、元利金共ニ銀貨ヲ以テ仕拂ハレ、無記名利札付ニシテ、百圓、五百圓、千圓ノ三種アリ、利子ヲ年六分トス、海軍公債證書ハ、海軍擴張ノ費途ニ充ツル爲、發行セラル、モノニテ、利子ヲ一個年百分ノ五トシ、元金ハ證書發行ノ年ヨリ五個年据置キ、其翌年ヨリ向三十個年間ニ、抽籤ヲ以テ償還セララルモノナリ、

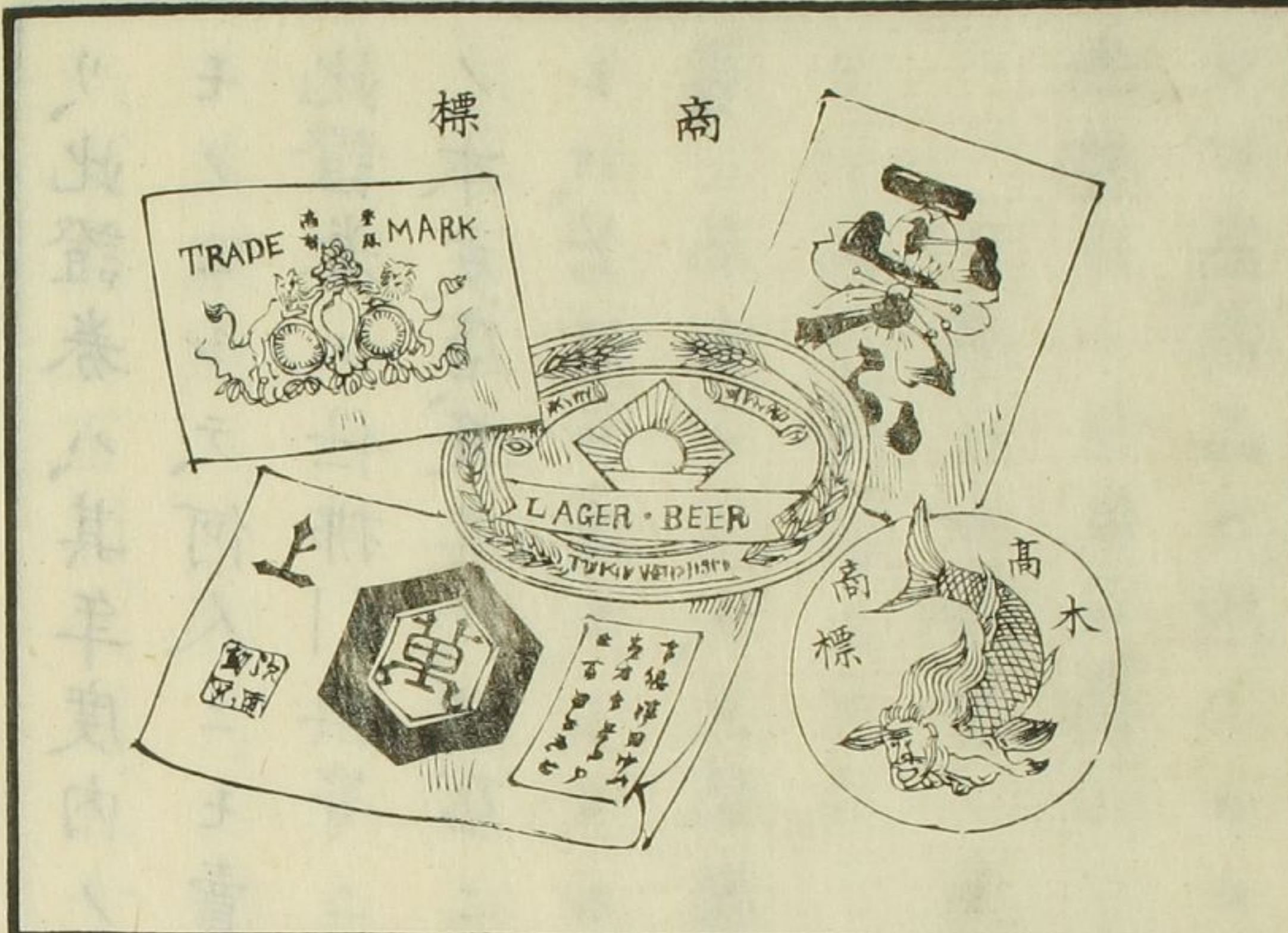
整理公債ハ、從前發行ノ六分利付ノ内國債ヲ、償還整理セシガ爲、募集サル、モノニテ、利子割合ハ一個年百分ノ五ナリ、無記名利札付證書ニシテ、五拾圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓ノ五種トシ、發行ノ日ヨリ五個年据置キ、五十個年間ニ抽籤法ヲ以テ償却セラル、モノトス、

大藏省證券トハ、政府ニ於テ出納上使用ノ爲、一時發行セラル、モノニテ、無記名利付定期拂ナリ、其期限ハ、三個月、六個月、九個月拂ニシテ、種類ハ、百圓、五百圓、千圓、五千圓、壹萬圓ノ五種ニ分テ

リ、此證券ハ、其年度内ノ歳入ヲ以テ支拂ハル、モノニシテ、何人ニモ賣買授受スルヲ得、而シテ此證券ノ仕拂引換等ニ關スル事務ハ、日本銀行ノ本支店、及其代理店ニ於テ取扱ハル、モノナレバ、若之ヲ遺失シタルトキハ、同店ヲ經テ大藏省ニ届出ヅベク、又毀損スルトキモ、同店ニ至リテ引換ヲ請求スベシ、

第二十四章 商標

商標トハ自家ノ商品ト、他家ノ商品トヲ識別セシガ爲、商品ニ附シタル目標ナリ、而シテ彼荷物



ノ外包ニ記シタル荷印
 トハ、全ク性質ヲ異ニス、
 世ニハ商標ヲ以テ荷印
 ト混視スルモノ少カラ
 ズ、誤解ノ甚シキモノト
 謂フベシ、抑商標ノ效用
 タルヤ、賣人、買人雙方ニ
 大ナル便益ヲ與フルモ
 ノニシテ、西洋諸國ニ於
 テハ、專ラ之ヲ利用スト云

ス、同價額ノ物品タルモ、其品質ノ善惡製造ノ巧
 拙ニ由リテ、大ニ世ノ信用ヲ異ニスルモノナリ、
 然ルヲ彼物品ト此物品トテ、區別スルノ目標無
 ケレバ、買人ニ於テモ物品ヲ買フ毎ニ、検査ノ勞
 ヲ取ラザルベカラズ、又賣人ニ於テモ、一般ノ商
 品ト異ナル目標無ケレバ、容易ニ其優等ノ點ヲ
 現スコト能ハザルベシ、故ニ其物品ニ目標ヲ附
 ケ置カバ、買人ニ於テモ何印ノ何品トテ、其商標
 ヲ目的トスレバ、何ノ店ニ就キテ求ムルモ、正シ
 ク其希望スル物品ヲ得ベシ、又賣人ニ於テモ此

目標ノ爲、日ニ世人ノ好評ヲ博シテ、益、其物品ノ
 販路ヲ擴張スルニ至ルベシ、是即商標ヲ利用ス
 ルノ効驗ニシテ、其利益實ニ大ナリ、是ニ於テカ、
 我が政府モ夙ニ此ニ見ル所アリテ、去ル明治十
 七年六月ヲ以テ、商標條例ヲ發布セラレ、爾來益、
 實効ヲ奏スルモノ、如シ、故ニ今日商標ヲ專用
 セント欲スルモノハ、願書ニ見本並ニ明細書ヲ
 添へ、地方廳ヲ經テ之ヲ農商務省へ願出ヅベシ、
 而シテ該省ノ商標簿ニ登録ヲ經タルトキハ、其
 所有者ニ於テ登録ノ日ヨリ、十五年間之ヲ專用

スルノ權ヲ有スルモノナリ、然レドモ既ニ登録
 商標ニシテ、同一種類ノ商品ニ用フル者、又ハ地
 名、人名、家號、會社名ノミヲ以テスルモノ、又ハ同
 業者普通ニ用ヒ、或ハ商業上慣用セル目標ヲ以
 テスルモノ、又ハ新ニ使用スル商標ニシテ、商標
 條例ノ發布以前ヨリ、現ニ使用者アル商標ト同
 一、又ハ類似ナル商標ヲ、同一種類ノ商品ニ用フ
 ル者ハ、登録ヲ願出ヅルコトヲ得ザルナリ、然ル
 ニ商標ノ登録ヲ願出ヅル願書ニハ、必證券印紙
 ヲ貼用スベキコトニテ、商標ノ登録、登録商標ノ

兼用、又ハ改正及登録證ノ再渡ノ願書ニハ壹圓、
 登録商標ノ滿期續用ノ願書ニハ五圓ヲ貼附ス
 ベシ、而シテ登録ヲ受クルモノハ、登録料トシテ
 金拾圓、登録商標ノ兼用、轉用又ハ改正ノ登録證
 ヲ受クルモノハ、金五圓ヲ納ムベキモノナリ、而
 シテ後ハ、專用權ヲ有スルモノナレバ、若他人ヨ
 リ之ヲ侵サレタルトキハ、直ニ之ヲ告訴シ、並ニ
 要償ノ訴ヲ起スコトヲ得ルモノトス、尚詳細ノ
 件ハ本條例ニ就キテ見ルベシ、

第二十五章 專賣特許及版權免許

夫世ニ幾年ノ辛酸ヲ嘗メ、許多ノ資本ヲ擲チテ、
 有益ナル事物ヲ發明スル者アラバ、之ニ報ユル
 ニ專賣ノ權ヲ以テスルハ、至當ノ事ナルベシ、若
 然ラザレバ、勞苦シテ發明シタル事物モ、徒ニ人
 ノ爲ニ模擬セラレテ、發明者ハ忽其功勞ヲ失フ
 ニ至ラン、果シテ然ルトキハ、世間復、發明ヲ計ル
 モノナカルベシ、是各國專賣特許法ヲ設ケテ、發
 明ヲ獎勵シ、事物ノ改良進歩ヲ計リ、以テ世ノ文
 明ヲ進ムル所以ナリ、是ニ於テカ、我が政府モ去
 ル明治四年四月、專賣假規則ヲ發布セラレタレ

ドモ、當時ニ在リテハ、我が國ノ民智未進マズシテ、之ヲ實行スルノ機ニ至ラズ、遂ニ五年三月ニ至リ、一旦之ヲ廢止セラレタリシガ、近年ニ至リ漸、其必要ヲ感ズルニ至リシヲ以テ、十八年四月專賣特許條例ヲ發布セラレ、發明シタル事物ノ世ニ裨益ヲ爲スノ多少ニ由リ、或ハ十五年、或ハ十年、或ハ五年ノ三等ニ區別セラレタリ、故ニ今日有益ノ事物ヲ發明シテ、之ヲ專賣セント欲スル者ハ、願書ニ發明ノ明細書、並ニ必要ノ圖面ヲ添へ、地方廳ヲ經テ農商務大臣ニ願出テ、其特許

ヲ受クベシ、然レドモ他人ノ既ニ發明シタル者、(但他人ヨリ譲リ受ケタルモノハ、此限ニアラズ)或ハ專賣特許願出以前公ニ用ヒラレ、又ハ公ニ知ラレタル者、或ハ治安、風俗、健康ヲ害スベキモノ、及醫藥ノ發明者ハ、專賣特許ヲ願出ルコトヲ得ズ、然ルニ專賣ノ特許ヲ得タル者ハ、必其賣捌ク發明品ニ、專賣特許證ノ年月日、及年限ヲ標記スベシ、而シテ其品種ニ由リ、之ヲ標記スルコト能ハザルモノハ、其上包等ニ表記スベシ、若此表記ヲ爲サミルトキハ、假令專賣人、其專賣權ヲ侵

サレタリト雖モ、之ヲ告訴シ、並ニ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得ザルモノナリ、一旦專賣權ヲ得タル後、之ヲ他人ニ讓與シ、又ハ分與セントスルトキハ、農商務大臣ニ願出ヅベシ、又本人其發明ヲ改良シタルトキハ、追加專賣特許ヲ願出ヅルコトヲ得ルト雖モ、原專賣特許ノ年限ヲ超ユルコトハザルモノナリ、萬一專賣特許證ヲ毀損遺失シタルトキモ、其再渡ヲ農商務大臣ニ願出ヅベシ、專賣人ニシテ專賣特許ノ日附ヨリ、二年ヲ經テ其發明ヲ實施公行セザルカ、又ハ事故ヲ屆ケ出

デズシテ、二年間之ヲ中止シタルトキ、并ニ專賣特許ノ發明品ヲ、外國ヨリ輸入シテ、之ヲ販賣シタルトキハ、專賣ノ權ヲ失フモノト知ルベシ、又專賣特許ヲ願出ヅル願書ニハ、證券印紙ヲ貼用スベキモノニシテ、專賣特許若クハ追加特許ノ願書ニハ、三圓、專賣權ノ讓與分與ノ願書ニハ五圓、專賣特許再渡ノ願書ニハ壹圓ヲ貼用スベシ、斯ク專賣特許證ヲ受クルモノハ、專賣特許料ヲ納ムベキモノニシテ、五年ノ專賣特許ハ金拾圓、十年ノ專賣特許ハ金拾五圓、十五年ノ專賣特許

ハ金貳拾圓ヲ上納スベキコト、セリ、
 版權ノ主意モ亦蓋シ專賣特許ト異ナル所ナク、
 齊シク功勞ニ報ユルノ方法ニシテ、圖書ヲ著述
 シ、又ハ外國ノ圖書ヲ翻譯シタル者ニハ、之ヲ出
 版シテ、其利益ヲ專有スルノ權ヲ與ヘラル、モ
 ノナリ、之ヲ版權ト謂フ、然レドモ版權ノ保護ヲ
 願フト願ハザルトハ、本人ノ隨意ニシテ、版權ノ
 保護ヲ受ケント欲スル者ハ、發行前製本六部ノ
 定價ヲ添ヘ、版權登録ヲ内務省ニ願出ベシ、内務
 省ニ於テ之ヲ登録サレタルトキハ、登録證書ヲ

下付サル、モノナリ、其版權ノ保護ヲ受ケザル
 者ハ、唯届出ノミニシテ、出版スルヲ許サル、モ
 ノナリ、又圖書刻成ノ上ハ、製本三部ヲ内務省ニ
 納ムベキモノナレバ、納本セザル以前ハ、發賣ス
 ルコトヲ許サレザルナリ、版權ヲ賣買スルハ、各
 自ノ隨意タルベキモノニシテ、若賣買スルトキ
 ハ、雙方連印シテ其事由ヲ内務省へ、届ケ出ベキ
 モノナリ、

第二十六章 同業組合

凡ソ農、工、商ノ業ヲ問ハズ同業者各自獨立シテ

敢テ利害ヲ共ニセザルトキハ、種々ノ弊害ヲ醸スコトアルハ、素ヨリ論ヲ俟タス況ンヤ我カ商人ノ中ニハ、唯眼前ノ小利ニノミ汲々トシテ遠大ノ計略ヲ慮ラザルガ如キ者、多キニ於テヲヤ聞或商人ハ、品質惡シキ蠶卵紙ヲ外商へ賣込ミ、或ハ他物若クハ粗品ヲ混淆シ若クハ染料ヲ以テ着色シタル製茶ヲ輸出セシコトアリト、斯ノ如キハ實ニ大利ヲ棄テ、小利ニ馳スルモノト謂ハザルヲ得ズ何トナレバ外人ニ於テ、一タビ之ヲ發見スルトキハ大ニ外人ノ信用ヲ失ヒ、其

需要益、減少シテ、貿易ノ衰微ヲ來タシ、容易ニ恢復スルヲ得ザルニ至ル、是實ニ我ガ商人ノ遠慮ナキニ因ルト雖モ、抑亦同業者一致シテ、利害ヲ共ニセザルノ致ス所ナリ、是ニ於テカ、我ガ政府ニ於テモ、夙ニ同業組合準則ヲ發布シテ、其方針ヲ世ニ示サレタリ、今其大要ヲ言ヘバ、凡ソ農、工、商ノ業ニ從事スル者ニシテ、同業者或ハ其營業上ノ利害ヲ、共ニスルモノ、組合ヲ設ケントスルトキハ、適宜ニ地區ヲ定メ、其地區内ノ同業者、四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ、規約ヲ作り管轄廳ノ

認可ヲ請フベキモノトス、其規約ニハ組合ヲ組
織スル業名、及組合ノ名稱、組合ノ地區、及事務所
ノ位置、其目的、及方法、役員選舉法、及權限會議ニ
關スル規程、費用ノ徵收、及賦課法、違約者ノ處分
法等ノ必要ナル事項ヲ掲グベキナリ、既ニ同業
組合ノ設アル以上ハ、其地區内ニ於テ組合員ト、
同業ヲ營ムモノアラバ、其組合ニ加盟スベキモ
ノナレバ、若其事業ノ規模及趣向ヲ異ニスルガ
爲加盟シ難キカ、或ハ加盟ヲ拒ムベキ事情アル
トキハ、管轄廳ニ請ヒテ其認定ヲ俟ツベシ、又ニ

府縣以上、聯合會ヲ設ケテ規約ヲ作ルトキハ、開
會地ノ管轄廳ヲ經テ、農商務省ノ認可ヲ請フベ
キモノトセリ、誠ニ組合ヲ設クルハ、民業改良ノ
基礎ニシテ、民業ノ改良ハ、即國家富强ニ赴クノ
階梯ナリ、故ニ改良熱心ノ者ハ、速ニ組合規約ヲ
設ケ、時弊ヲ矯正シ、我が國將來ノ大計ヲ爲スコ
ト緊要ナリ、

第二十七章 租稅

夫租稅トハ、一國人民ノ其政府ヨリ、保護ヲ受ク
ル報酬トシテ上納スル所ナリ、今日吾人ハ社會

ノ一人トシテ、兵戈ニ罹ラズ、盜難ニ遇ハズ、其他諸ノ災害ヲ蒙ラズシテ、安寧ニ生活スルヲ得ルモ、全ク政府ノ保護ニ由ラズンバアラズ、故ニ何人モ其分ニ應ジテ、必納税スベキ義務アルモノナリ、

凡ソ租税ニ國税、地方税ノ別アリテ、國税トハ、全國一般ニ課セラル、モノニテ、大藏省ニ收入シ、以テ國費ニ供セラルモノヲ云ヒ、地方税トハ、一地方人民ニ課セラル、モノニテ、地方廳ニ收入シ、以テ其地方ノ費用ニ供セラル、モノヲ云フ、

今租税中、最高業ニ適切ナルモノ、大要ヲ左ニ掲ゲン、

何種ノ商人ヲ問ハズ、特ニ記臆ヲ要スルモノハ、證券印税ナリ、苟モ財産ヲ授受賣買シ、又ハ契約ヲ爲ストキハ、必正當ノ證書ヲ作り、證券印税規則ニ從ヒテ、印紙ヲ貼用スベキモノナリ、若此規則ヲ犯シテ、適宜ニ印紙ヲ貼付セザルトキハ、徒ニ私ノ契約ニ止マリテ、更ニ公ノ効驗ヲ有セズ、故ニ商家ハ勿論、其他ノ者ニ至ルマデ、常ニ能ク之ニ注意セザレバ、後日臍ヲ喫ムノ悔アルベシ、

此規則ニ於テハ證書、帳簿ノ二類ニ分テリ、第一類ハ、金高ノ有無多寡ニ拘ハラズ、當坐預金引出小切手及委任狀ハ、印税五厘ニシテ、賣買仕切書、諸會社株券、結社約定書、讓與證文、地所家屋預證文、借地借家證文、保險證文、送金手形、金錢若クハ諸物品判取帳等ハ、印税壹錢ナリ、又營業ニ關スル送狀及受取書ハ、金高五圓以上ノモノニ限リ、壹錢ノ印税ナレドモ、此證書ヲ通帳ト爲ストキハ、都メテ一年以内、一冊ニ付壹錢ノ印紙ヲ貼付スベシ、第二類ハ、金錢借用證文、地所家屋賣渡證

文、金高記載アル諸物品預證、及借用證文、諸物品賣買證文、金錢定期預證文、金高記載アル諸般ノ契約書等ニシテ、金高ノ多少ニ從ヒ、壹錢ヨリ壹圓ニ至ルマデ人印紙ヲ貼付スベキモノナリ、而シテ其割合ハ、金高壹圓以上貳拾圓未満ハ、印税壹錢、貳拾圓以上五拾圓未満ハ、貳錢、五拾圓以上百圓未満ハ、四錢、百圓以上百五拾圓未満ハ、六錢、百五拾圓以上貳百圓未満ハ、八錢等ナリ、然レドモ爲替手形、約束手形ハ別ニ定リタル用紙アレバ、必之ヲ用フベク、而シテ其金高五拾圓未満ハ

壹錢、五拾圓以上貳千圓以下ニ至ルマデノ金額
 二八、貳錢以上五拾錢マデノ印紙ヲ貼附スベキ
 モノトセリ、若證書、帳簿ノ印紙ヲ貼用スベキモ
 ノニシテ、之ヲ貼用セズ、若クハ貼用不足スルモ
 人及手形用紙ヲ用ヒズ、若クハ不足税ノ手形用
 紙ヲ用ヒタルモノハ、脱税高二十倍ノ科料又ハ
 罰金ニ處セラレ、其證書、帳簿ヲ受取リタルモノ
 モ、亦同様ノ罰金ニ處セラル、モノナリ、故ニ深
 ク之ニ注意セザルベカラザルナリ、
 又爰ニ諸營業ニ關スル税則ヲ擧ゲンニ、凡ソ酒

類ヲ製造シテ營業セント欲スル者ハ、其旨ヲ管
 轄廳ニ願出テ、酒造場一個所毎ニ、免許鑑札ヲ受
 クベキモノニシテ、之ヲ受クルモノハ、免許税及
 造石税ヲ納ムベシ、酒造免許税ハ、酒造場一個所
 ニ付、毎年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄、一
 期間又金三拾圓トシ、酒類造石税ハ、釀造酒ハ一
 石ニ付四圓、蒸溜酒ハ五圓、再製酒ハ六圓ナリ、又
 自家用料ノ酒類ヲ製造セント欲スルモノハ、其
 旨ヲ管轄廳ニ届出テ、免許鑑札ヲ受ケテ、鑑札料
 一期金八拾錢ヲ納ムベシ、然レドモ清酒ハ、自家

用料トシテ、製造スルコトヲ得ザルモノトス、
 凡ソ醬麴ヲ製造シテ營業セント欲スル者モ、亦
 其旨ヲ管轄廳ニ願出テ、製造場一個所毎ニ、免許
 鑑札ヲ受ケ、一期間ノ營業稅トシテ、金五拾圓ヲ
 納ムベキモノナリ、

煙草製造營業稅ハ、營業場一個所ニ付一年金拾
 五圓、仲買營業稅ハ、營業場一個所ニ付金拾五圓、
 小賣營業稅ハ、營業場一個所ニ付金五圓ナリト
 ス、煙草營業ヲ爲サント欲スル者ハ、管轄廳へ願
 出テ、營業場一個所毎ニ、免許鑑札ヲ受クベキモ

ノニシテ、煙草營業鑑札料ハ、一枚ニ付金貳拾錢、
 仕入鑑札料ハ拾錢、出賣鑑札料ハ拾錢ナリトス、
 煙草製造人ニシテ、煙草ヲ製造シタルトキハ、其
 定價十分ノ二ノ割合ヲ以テ、煙草印紙ヲ貼用ス
 ベキモノトス、

船舶ノ所有者ハ、其船舶定繫場ヲ定メ、其所在
 ノ地方廳ニ願出テ、檢査ヲ受ケ鑑札ヲ請フベキ
 モノニテ、其稅率ハ、西洋形蒸氣船百噸ニ付一年
 拾五圓、風帆船ハ拾圓、日本形船積石五拾石以上
 ハ百石ニ付貳圓、日本形積石五拾石未滿、又ハ舩

漁船、小廻船ニシテ、舳梁ヨリ艫梁ニ至ルノ長サ、三間マデハ三拾錢、三間以上、一間ヲ加フル毎ニ拾五錢ヲ増加シ、遊船ハ長サ三間マデハ五拾錢ニシテ、三間以上ハ、一間ヲ加フル毎ニ貳拾五錢ヲ増加スルモノナリ、
車税ハ、馬車二匹立以上ハ、一個年税金三圓、一匹立ハ貳圓、荷積馬車ハ壹圓、人力車二人乗ハ貳圓、一人乗ハ壹圓、牛車ハ壹圓、荷積大七、大八車ハ壹圓、中小車ハ五拾錢ナリ、
會社税ニ、國立銀行税、米商會所税、株式取引所税

ノ別アリテ、國立銀行税ハ、銀行紙幣下付高千分ノ七、米商會所並ニ株式取引所税ハ、米穀定期賣買約定代金高千分ノ二、公債證書同ジク萬分ノ三、諸株式同ジク萬分ノ六トセリ、
賣藥營業税ハ、藥劑一方ニ付一個年金貳圓、鑑札料ハ、藥劑一方ニ付一枚金貳拾錢ナリ、凡ソ賣藥ニハ必定價ヲ附記シ、其定價ニ從ヒ營業者ニ於テ、其相當ノ印紙ヲ貼用スベキモノナリ、
醬油營業税ハ、製造所一個所ニ付、一個年金五圓、造石税ハ、製造高一石ニ付、金壹圓ナリ、

菓子營業鑑札料ハ一枚ニ付金貳拾錢、仕入鑑札料ハ拾錢、出賣鑑札料ハ拾錢ナリ、又製造、卸賣及小賣營業税ハ、雇人ナキ者ハ一個年金壹圓ニシテ、雇人アル者ハ、其雇人數ノ多少ニ依リテ納税スベキモノナリ、但露店又ハ呼賣ヲ業トスル者ハ、其營業ヲ免除セラル、モノナリ、又製造税ハ、菓子賣上金高百分ノ五トシ、半年分ノ賣上金高三拾圓未滿ノ者、及露店又ハ呼賣ヲ業トスル者ハ、其製造税ヲ免除セラル、モノトス、又凡ソ人民ノ資産又ハ營業其他ヨリ生ズル所

得金高、一個年三百圓以上アル者ハ、所得税法ニ依リテ納税スベキモノニテ、其等級ヲ五ツニ分チ、税率ヲ定メラレタリ、即所得金高三萬圓以上ハ税率百分ノ三、貳萬圓以上ハ百分ノ二半、壹萬圓以上ハ百分ノ二、千圓以上ハ百分ノ一半、三百圓以上ハ百分ノ一ニシテ、前半年分ヲ其年九月二、後半年分ヲ翌年三月ニ納ムベキモノナリ、故ニ此税法ニ依リ、税金ヲ納ムベキ所得金アル者ハ、其年所得ノ豫算金高及種類ヲ記載シテ、毎年四月三十日マデニ、居住地ノ戸長ヲ經テ、郡區長

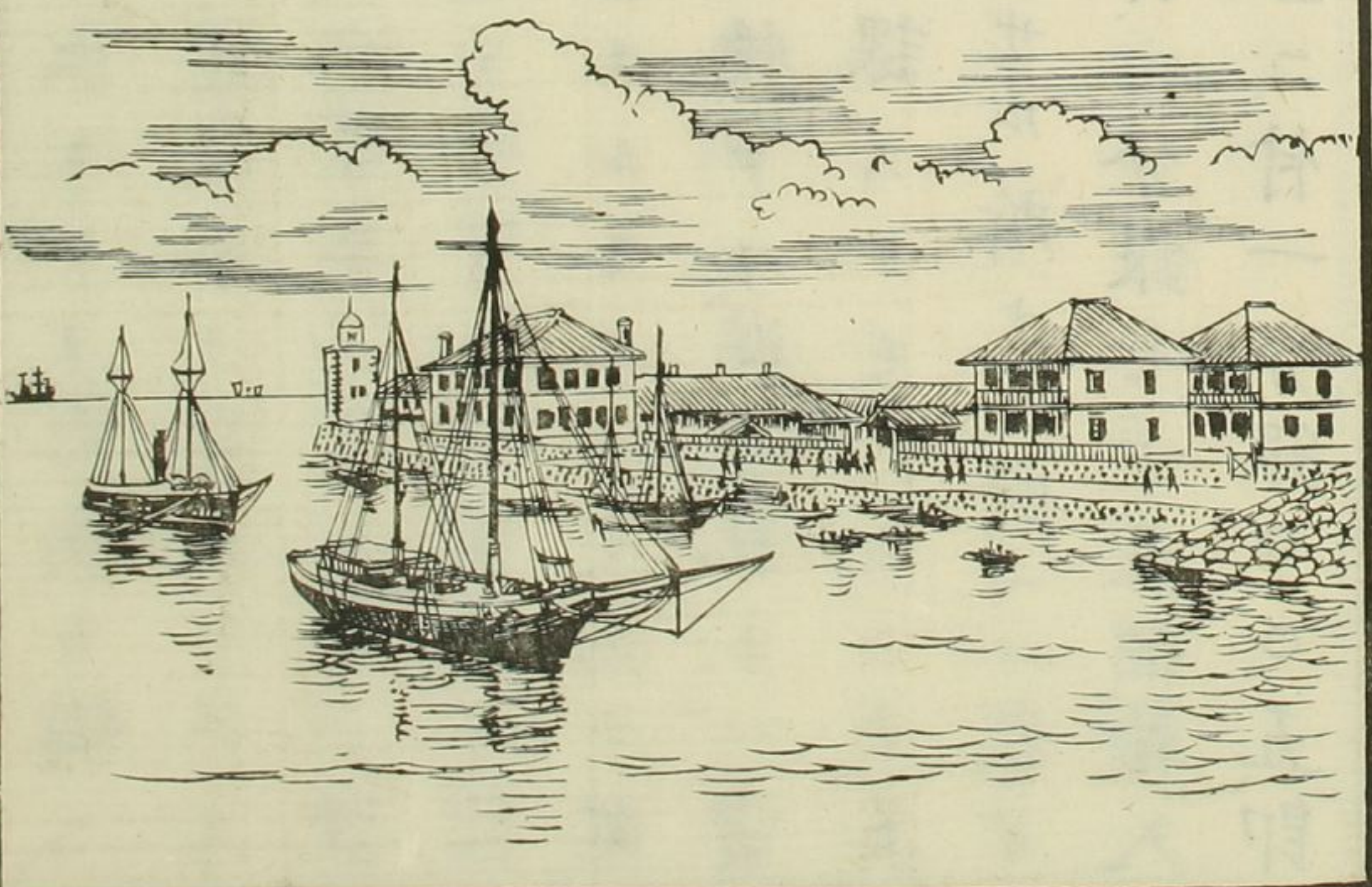
二届出ベシ、
尚此他度量衡税、北海道物産税、訴訟用印紙税等
ノアルアリ、就テ見ルベシ、

第二十八章 税關

税關ハ、外國ヨリ輸入スル貨物、及外國ニ輸出ス
ル貨物ニ就キ、政府ヨリ豫定メラレタル税目ニ
從ヒテ、課税セラル、所ナリ、方今外國ト通商交
易スル諸國ハ、大概通商港口ニ税關ヲ設ケテ、以
テ此税法ヲ施行セザルモノ無シ、英國ノ如キハ
自由貿易國ニシテ、大ニ課税品ノ數目ヲ減少シ

タレドモ仍、茶、咖啡、乾菓
物、蒸溜酒、葡萄酒、煙草等ノ
若干物品ニ限り、現ニ關
税ヲ徴收セリ、我が國ニ
於テモ、横濱、神戸、長崎、函
館、大坂、新潟ノ各開港場
ニハ、必税關ノ設アリテ、
關税ヲ徴收セララル、モ
ノナリ、故ニ税金ヲ納メ
ズシテ、物品ヲ外國ヨリ

神 戶 税 關



小學 七十一 教育書專賣所

輸入スルカ、又ハ外國ニ輸出スルヲ密商ト稱へ、若此事ノ發露スルトキハ、其物品ヲ沒收セララル、モノナリ、故ニ税關ニハ、必監吏ヲ置キ、常ニ波戸場ノ近傍ニ巡回シテ之ヲ監守シ、若密商ト認ムルトキハ、直ニ之ヲ拘留スルモノナリ、凡ソ關稅ニハ、從量ト從價トノ兩種アリ、從量稅トハ、貨物ノ重量ニ從ヒテ、稅金ヲ課スルモノニシテ、其物ノ價格如何ハ、毫モ問ハザル所ナリ、例へバ我が國輸出ノ生絲ハ、百斤ニ付一分銀七十五個、輸入ノパンカチコハ、一ダールニ付一分銀〇〇五、即

七分五厘ナルガ如シ、又從價稅トハ貨物ノ價ニ從ヒテ課稅スルモノニシテ、毫モ其重量ヲ問ハズ、例へバ我が國輸出ノ木炭、人參ノ如キハ、其市價ノ五分、輸入ノ靴、時計ノ如キハ、其元價ノ五分ヲ課スルガ如シ、然レドモ或種ノ物品ニ限リ、輸出入稅ヲ免除セララル、モノアリ、之ヲ免稅品ト呼ベリ、例へバ我が國ニ於テ、米、麥、銅器、絹ノ製品等ハ、輸出稅ヲ免除セラレ、石炭、金、銀、穀物、書籍、鹽等ノ如キハ、輸入稅ヲ免除セララル、ガ如シ、尚此他ニ禁制品ト稱シテ、輸入ヲ嚴禁セララル、モノ

アリ、阿片是ナリ、
 凡ソ外國へ、物品ヲ輸出セント欲スルトキハ、其
 船積スル前ニ、荷積願書ヲ税關ニ差出シ、荷物ノ
 検査ヲ受ケ、本船ニ至リ税關免狀ヲ監吏ニ示シ
 テ、荷物ヲ船積スベシ、又外國ヨリ、輸入シタル物
 品ヲ陸揚セントスルトキモ、陸揚願書ニ仕切證インゲネキス
 ヲ添ヘテ、之ヲ税關ニ差出シ、荷物ノ検査ヲ受ケ
 テ税目ノ通り納税シ、而シテ後其荷物ヲ陸揚ス
 ベシ、若荷物ノ積荷目録ニ、漏洩シタルモノヲ陸
 揚スルトキハ、二重ノ税金ヲ課セラル、モノナ

リ、
 又瀛船入港シタルトキハ、四十八時間内ニ税關
 へ入港届ヲ爲シ、次ニ積荷目録寫ヲ税關ニ差出
 シ、入港手数料トシテ十五弗ヲ納メ、次ニ本船所
 屬國ノ領事へ届出、而シテ後積荷ヲ荷受人へ引
 渡スベシ、瀛船出港セントスルトキハ、出帆ヨリ
 二十四時以前ニ出港届ヲ爲シ、手数料七弗ヲ納
 メテ出帆スベシ、
 凡ソ税關ノ傍ニハ、海關倉庫ト云フモノアリ、政
 府ノ設立スル所ニシテ、外國ヨリ輸入シタル物

明治二十一年十月十日
文部省檢定濟

小學校用商業書第三終

明治二十一年八月十日印刷
同 年八月十四日出版

定價金拾五錢

著者

松田好生

神奈川縣橫濱北仲通三丁目甲九番地寄留

發行者

辻敬之

東京下谷區練堀町十四番地

印刷者

沼尻爲作

東京下谷區御徒士町一丁目七番地

發兌

普及

東京下谷區練堀町十四番地



版權所有



品ニシテ、未關稅ヲ納メサルモノヲ、所藏スル倉庫ナリ、凡ソ外國貿易ノ業ヲ爲ス者ハ、常ニ内外ノ市場ニ眼ヲ注グガ故ニ、假令ヘ物品ヲ外國ニ注文シテ、到着シタルトキト雖モ、之ヲ他國ニ於テ賣却スル方、却テ利潤多キ望アルトキハ、之ヲ海關倉庫ニ預ケ居カバ、關稅ヲ拂ハズシテ、再ビ外國ニ輸出スルコトヲ得ルナリ、然レドモ内國ニ於テ賣却スレバ、輸入稅ヲ納ムベキハ勿論ノコトナリ、實ニ此倉庫ハ、貿易商ニ大ナル便益ヲ與フルモノナリ、

商業三

早稲田大学
芝野遺著
田(壽)敬